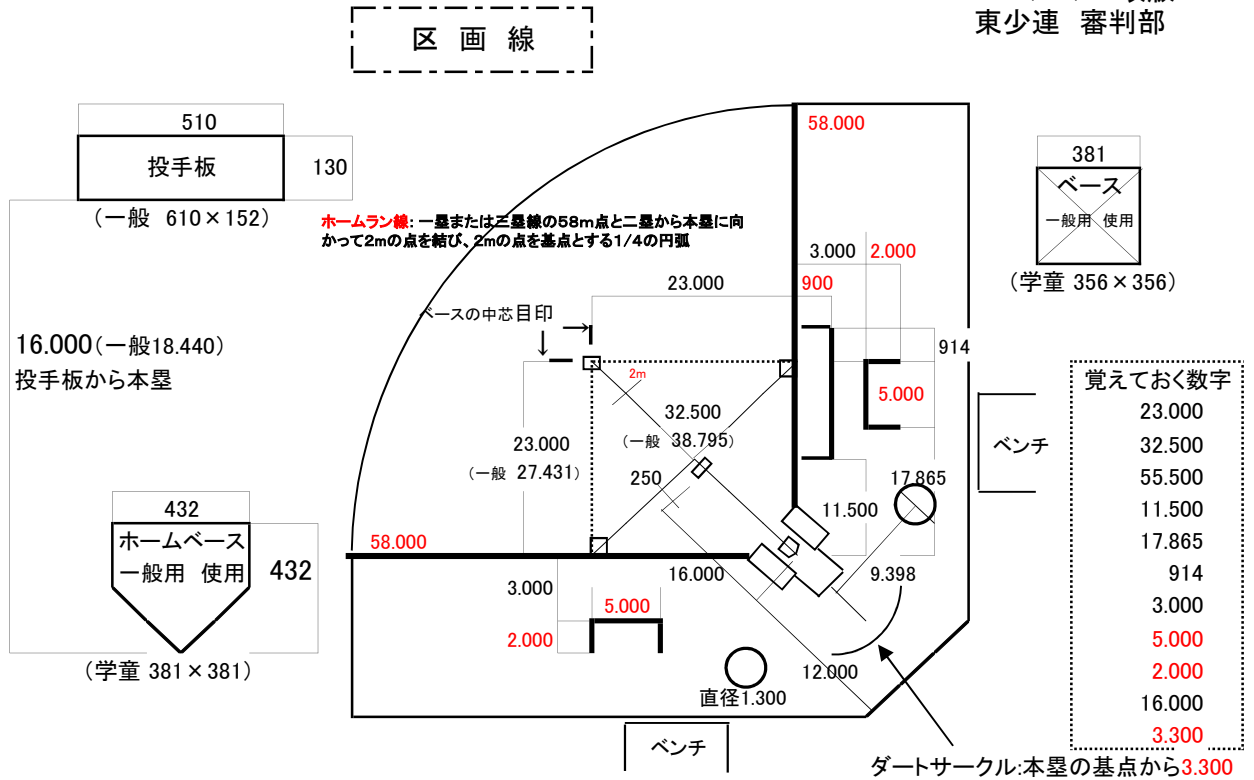


野球競技場の作り方(少年学童部)

NO. 1
2017/02/03改版
東少連 審判部



作業手順

1. 本塁の基点を定める。
2. 一塁線を引く。
(条件により、三塁線、又は二塁基点を、先に決める方法もある
ホームベースが固定されているグラウンドは、二塁の基点を先に決める。)
3. スリーフットラインを引く。
4. 一塁のコーチス・ボックスを引く。
5. 二塁と本塁の基点を結び、投手板の位置を定める。
また本塁の前縁と後縁(捕手エリアの後方)に基本線を引く。
6. 三塁の基点を定め、三塁線を引く。
7. ホームラン線を引く。引かないときは省略
8. バッターボックス、キャッチャーボックス、**ダートサークル**を作る。

用具

- ・ 投手板、ベース一式
- ・ ラインカー 1~2台
- ・ 石灰 1袋~1.5袋
- ・ ハンマー 1個
- ・ メジャー100m 1個
- ・ メジャー5m 1個
- ・ 金杭 (丸い物) 4~6ヶ

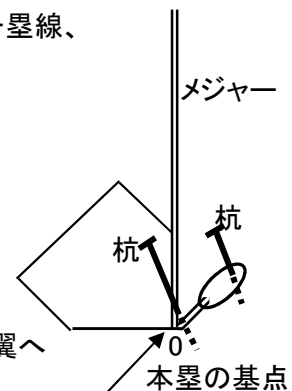
[手順 1] 本塁の基点を定める。

ポイント 1. 本塁の基点は、バックネットからの距離(標準12m)、及び一塁線、三塁線を想定して、全体のバランスを考え、慎重に定める。

(作業 1) 基点を定めたら、基点に杭を打つ。
メジャーを杭に絡めて、基点に『0』が来るようにする。

(作業 2) メジャーの末端の輪の中に杭を打つ(必ず一塁側)。
基点の『0』を再度確認する。

(作業 3) メジャーを一塁、三塁へ伸ばすとき、本塁基点から右翼、左翼へ向かってブラシをかける。



〔手順 2〕一塁線を引く。

(作業 1) 本塁の基点にメジャーの『0』を確認して、一塁方向に58m延ばす。
真っ直ぐに強く張り一塁線を定める。メジャーの《ねじれ》をとる。
手の空いてる人は、メジャーの途中2ヶ所ぐらいを足で踏み、風でメジャーが動かないようにする。

(作業 2) 本塁の基点から1.3m離れた所からラインカーで白線を引く。
(バッターボックスの中はラインを引かない)

ポイント 1. ライン引きは、後ろ向きになり、ラインカーを内野側にセットする。
メジャーを足で踏みながらゆっくり後退する。
メジャーの上に石灰が乗らない様に努める。

ポイント 2. 50~60mラインを引くと石灰が無くなる。
石灰の袋を一塁後方に、移動しておくで時間の短縮になる。

(作業 3) ラインカーが、一塁線を引いている間に、次にラインを引く準備をする。
メジャーに直角に10cm程、下記の点を地上にマークする。

11.500m : スリーフット ラインの始まり (11.5m)
17.856 : 一塁コーチス・ボックスの始まり(18m)
23.000 : 一塁の基点。一塁コーチス・ボックスの終わり
23.914 : スリーフット ラインの終わり(23.9m)

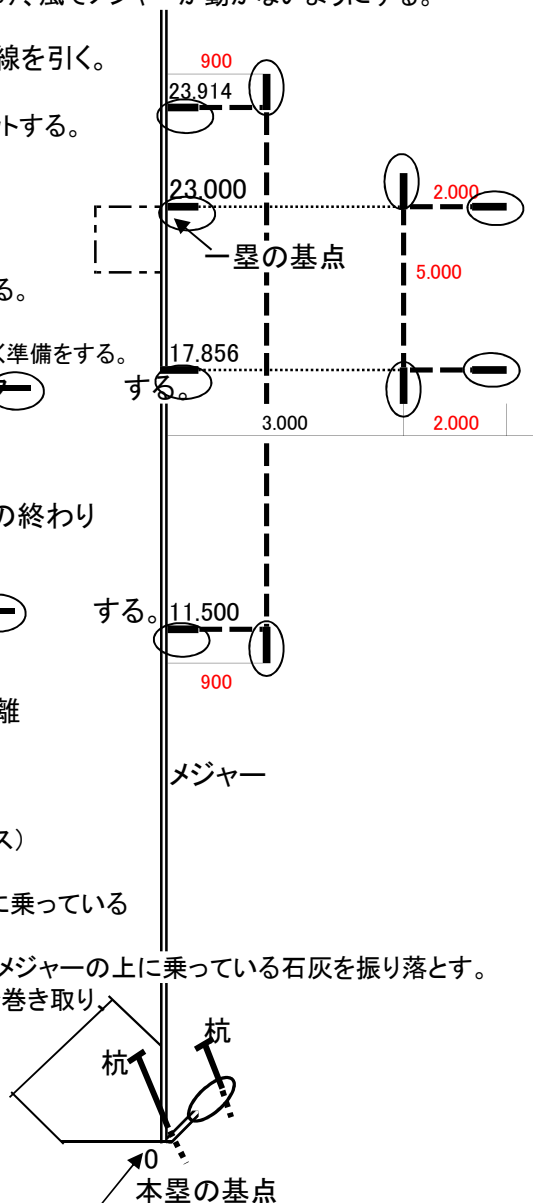
(作業 4) 別に用意した、短いメジャーで、下記の点をマークする。

0.914 : スリーフット ラインの幅(0.9m)
3.000 : コーチス・ボックスの一塁線からの距離
2.000 : コーチス・ボックスの奥行き

ポイント 1. 寸法取りは、ラインを引いている間に忘れずに行う。
忘れると、もう一度メジャーを張ることになる。(時間のロス)

ポイント 2. ライン引きが終了し、メジャーを外す時は、メジャーの上に乗っている
石灰をファールゾーンに落とさない様、注意する。
メジャーは一気に引き上げず、右翼、左翼側で強く引き、メジャーの上に乗っている石灰を振り落とす。

ポイント 3. メジャーを巻き取る時は、全てを巻き取らず、55.5mまで巻き取り、
次の作業のために、一塁の基点のそばに置く。



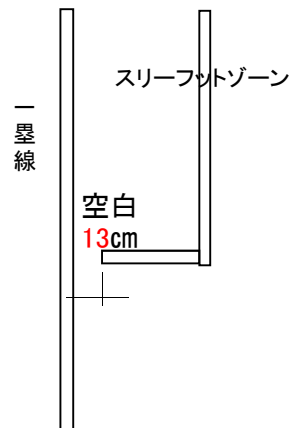
〔手順 3〕スリーフットラインを引く。

(作業 1) 前に、寸法取りした位置にメジャーを置きラインを引く。

ポイント 1. メジャーをセットする人は、ラインを引く人と衝突しないように
ラインを引く長さより1.5m以上離れてメジャーをセットする。

ポイント 2. スリーフットラインと、一塁線との交点は、13 cm程空白をとる。
空白の寸法はボール1ヶ分を目安とする。

ポイント 3. 石灰は、枠(ゾーン)の内側を引く。



〔手順 4〕一塁のコーチスボックスを引く。

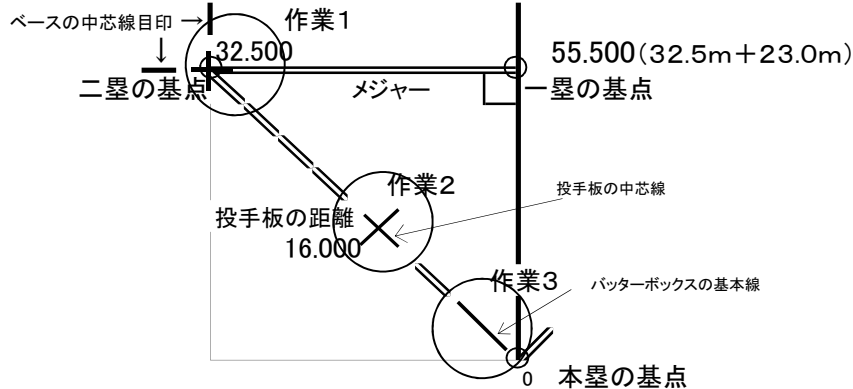
[手順 5] 二塁の基点と投手板の位置を定める。

NO. 3

ポイント 1. 二塁の基点は、本塁より32.5m、一塁の基点より23.0mであるから、この二つの距離を同時に測り、二塁の基点を定める。

(作業 1) 一塁の基点にメジャーの55.5mを固定する。メジャーの32.5mをつかみ、二塁方向に移動する。メジャーの32.5mをしっかりと持って「くの字」に双方に延びたメジャーを強く張ると「一点」が定まる。定まった点が、二塁の基点となる。マークする。

試合でベースが移動した場合、元の位置が解るよう、中芯線をマークする。



ポイント 2. 投手板の位置は、本塁より16.0m、中芯が本塁と二塁の線上に位置する。

(作業 2) 本塁と二塁に張られたメジャーより、上記の位置をマークする。

また、二塁の基点から本塁に向かって2.0mの位置をマークする。(ホームラン線の基点となる)

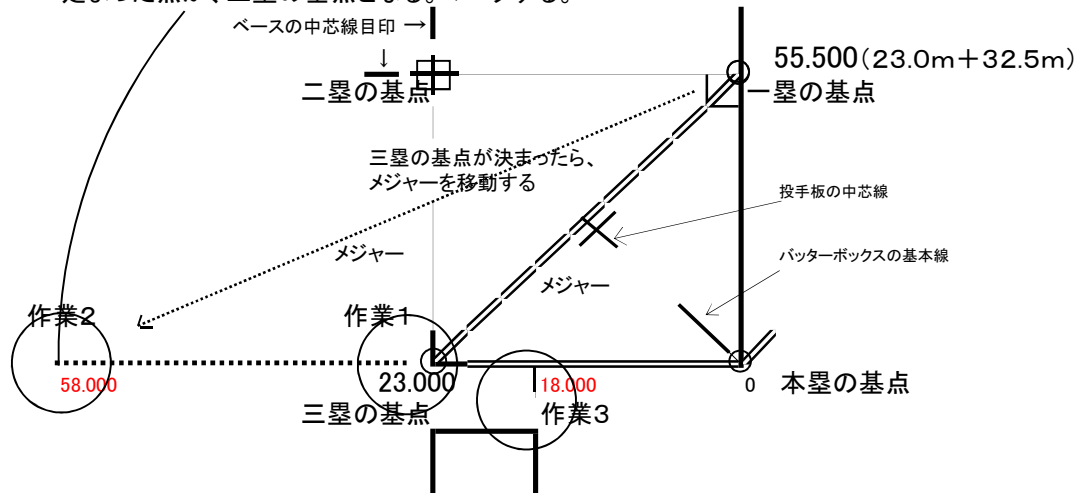
ポイント 3. 後で、ラインを引くバッターボックスを作る為の基本線をマークする。

(作業 3) 本塁と二塁に張られたメジャーに添って、上記の位置を3.0mほどマークする。

[手順 6] 三塁の基点を定め、三塁線を引く。

ポイント 1. 三塁の基点は、本塁より23.0m、一塁の基点より32.5mであるから、この二つの距離を同時に測り、三塁の基点を定める。

(作業 1) 一塁の基点にメジャーの55.5mを固定する。メジャーの23.0mをつかみ、三塁方向に移動する。メジャーの23.0mをしっかりと持って「くの字」に双方に延びたメジャーを強く張ると「一点」が定まる。定まった点が、三塁の基点となる。マークする。



(作業 2) 三塁の基点が決まったら、一塁にあるメジャーを三塁後方に移動する。三塁の基点を通り、一直線になるように調節する。位置決定後ラインを引く。

(作業 3) コーチスボックスの始点18.0mをマークし、一塁側と同様にコーチスボックスの位置をマークする。

[手順 7] ホームラン線を引く。引かないときは省略

ポイント 1. ホームラン線(3塁側58.0mの点と二塁の基点から本塁に向かって2.0mの点を結び、円弧をつくる)設ける。ラインカーの石灰量調整は「中量」にすると良い。

(作業 1) メジャーを持つ人は、58.0mのところを右手で持ち、右腰に当て固定する。センター方向を向き、体重を左側にかけて、メジャーが浮き上がるくらい強く張る。この姿勢で、右足で地面を引きずるようにし、本塁を基点とした円弧を書く。

(作業 2) ラインを引く人は、地上に出来た足跡を目印にしてラインを引く。

